

令和元年度 事業報告書

令和元年度は、より多くの市民や来訪者が気軽に文化芸術に触れ、親しんでもらうため、新たな事業の企画や創意工夫を行い、特に次の3点に重点を置いて事業を実施した。

- ・ こどもを対象とした事業の拡充
- ・ 地元や国内外のアーティスト等との共働による新たな作品の創作・発信
- ・ 市民や国内外の来訪者に気軽に楽しんでもらう場の提供

上記を踏まえ、①文化芸術に親しむきっかけづくり ②市民の文化芸術活動の支援 ③情報発信事業の推進の3つの柱で事業を展開した。

第1 文化芸術に親しむきっかけづくり

(1) 子ども文化芸術事業 (決算額 11,675千円) 参加者・来場者：延べ6,262人

①子ども文化芸術魅力発見事業 (決算額 7,122千円) 参加者・来場者：延べ5,282人
国内外で活躍するアーティストを小学校に派遣し、子どもたちに文化芸術を鑑賞・体験する機会を提供する「アーティストとであう」事業では、新たに九州交響楽団や人形浄瑠璃のプログラムを加え、49校においてワークショップを実施した。

また、公募した小学生が福岡で活動するアーティストとともに演劇作品を創作する「アーティストとつくる」では、夏休み期間中にワークショップを開催し、オリジナル作品の上演を行うことで、子供たちの創造力・想像力・表現力を育むことに取り組んだ。

ア 小学校へのアーティスト派遣「アーティストとであう」

参加者：49校 / 5,075人

【音楽】

内 容： 室内楽アンサンブル、サクソフォン四重奏

アーティスト： 九州交響楽団、福岡青年音楽家協会

実施校： 6校

実施学年： 小学1年～6年生

参加者数： 642人

【ダンス】

内 容： パントマイムをベースにしたダンス、オリジナルダンス作り

アーティスト： カンパニーデラシネラ、古家優里氏、真崎千佳氏、山本泰輔氏 他

実施校： 7校

実施学年： 小学1年～3年生

参加者数： 696人

【演劇】

内 容： 演劇創作の過程を通じたコミュニケーションワークショップ
アーティスト： 有門正太郎氏
実 施 校： 3校
実 施 学 年： 小学4年・5年生
参 加 者 数： 226人

【日本伝統文化】

内 容： 能，狂言，和太鼓&篠笛，箏，筑前琵琶，人形浄瑠璃
アーティスト： 福岡市能楽協議会，和楽団ジャパンマーベラス，箏曲鶯絃会，
尾方蝶嘉氏ほか，筑前艶恋座
実 施 校： 20校
実 施 学 年： 小学1年～6年生
参 加 者 数： 2,224人

【国際文化】

内 容： 韓国伝統芸能，馬頭琴，西アフリカの伝統芸能
アーティスト： 韓ソリ，ドラム馬頭琴楽団，GEKIDAN☆AFRICA
実 施 校： 13校
実 施 学 年： 小学1年～6年生
参 加 者 数： 1,287人

イ 公募型ワークショップ「アーティストとつくる」

参 加 者 数： 延べ207人（うち発表会来場者：76人）
開 催 日： 令和元年8月19日（月）～8月24日（土）
会 場： パピオ ビールーム
アーティスト： 川口大樹氏，横山祐香里氏，真崎千佳氏，田村さえ氏，
山崎瑞穂氏，五島真澄氏，友田宗大氏
対 象： 小学4年～6年生
参 加 者 数： 22人
参 加 料： 3,000円（発表会観覧は無料）

②親子芸術体験事業（決算額 4,553千円） 来場者：980人

親子芸術体験事業では，子どもが文化芸術に触れる機会の充実を目的として，子どもと大人と一緒に楽しめる音楽と演劇の公演を実施した。

音楽公演「おんがくさんぽシリーズ」では，0歳からの入場や料金設定に工夫を行い，親子で参加しやすいコンサートとして定着化を図った。

演劇公演「めにみえない みみにしたい」では，他都市の文化芸術団体や劇場9団体との連携により，広報面の協力や費用負担の軽減等を行い，参加しやすい料金で質の高い文化芸術に触れる機会を提供した。

ア 音楽公演

- 公演名 「おんがくさんぽ vol.6 親子で楽しむ
はじめてのモーツァルト」
- 開催日 令和元年7月28日（土）
- 会場 福岡市立東市民センターなみきホール
- 出演者 松本和将氏（ピアノ）、山下大樹氏（ヴァイオリン）、
加藤淳也氏（司会・進行）
- 入場料 一般 1,000円 中学生以下 500円（当日券各500円増）
- 来場者数 594人

イ 演劇公演

- 公演名 「めにみえない みみにしたい」
- 開催日 令和元年8月17日（土）・8月18日（日）各日2回公演 全4回公演
- 会場 福岡市民会館大ホール
- 作・演出 藤田貴大氏
- 音楽 原田郁子氏
- 衣装 suzuki takayuki氏
- 出演 伊野香織氏，川崎ゆり子氏，成田亜佑美氏，長谷川洋子氏
原田郁子氏（福岡公演特別出演による生演奏）
- 入場料 一般 2,000円 子ども（18歳以下）1,000円
（当日券各500円増）
- 来場者数 369人

（関連企画）

- 開催日 令和元年8月16日（金）
- 会場 福岡市民会館練習室A
- 対象者 小学生
- 内容 小学生の視点から「町の風景」を切り取り，この町に点在している
日常の風景を演出家がつなぎ合わせて演劇小作品を作り，発表する
「地図のワークショップ」を実施した。
- 参加料 500円
- 参加人数 17人

(2) 伝統芸能事業 (決算額 2,217千円)

来場者・参加者：496人

伝統芸能が幅広い市民の関心を集め、身近のものとなるよう、日本で唯一、福岡発祥の筑前琵琶の演奏と語りによって人形浄瑠璃を演じる団体「筑前艶恋座」の公演とワークショップを実施し、伝統芸能の振興と新たな鑑賞者の獲得を図った。

- 公演名 「魅せる！聴かせる！人形浄瑠璃への誘い」
- 開催日 令和元年7月13日（土） 2回公演
- 会場 福岡市科学館サイエンスホール
- 出演 筑前艶恋座
- 入場料 一般2,000円 ユース（25歳以下）1,000円（当日券各500円増）他
- 来場者数 438人

（関連企画）

- 事業名 「知るともっと面白い！はじめての人形浄瑠璃」
- 開催日 令和元年5月18日（土）
- 会場 福岡市美術館 アートスタジオ
- 対象者 一般市民
- 講師 勘緑（人形遣い）
- 内容 人形操作の仕組みや公演の見どころの解説等を実演を交えて実施。
- 参加料 500円
- 参加者数 58人

(3) 社会参加促進事業 (決算額 1,500千円)

参加者・来場者：延べ615人

障がいのある人の芸術活動を通して、障がいや個性について考え、社会の様々な価値観を捉えなおすことを目的に、NPO法人ニコちゃんの会及び九州大学ソーシャルアートラボと連携して、障がい者が演者として演劇活動を続けてゆくために必要となる支援者の人材育成に取り組んだ。また、演劇作品をツアー公演として多くの観客に見てもらうための試みとして、福岡及び東京において少人数編成による演劇公演を実施するとともに、特別支援学校にアーティストを派遣し、ワークショップを実施した。

①「身体的にバラエティあふれる人たちとの演劇のつくり方」講座 参加者：244人

- 開催日 令和元年7月12日（金）～7月15日（月祝）
- 会場 九州大学大橋キャンパスデザインコモン2F
- 対象者 障がい者の文化事業等に興味がある方
- 参加料 無料
- 参加者数 149人（講座受講者5人 延べ：20人、講師・見学者129人）

(関連企画)

- 開催日 令和元年7月15日（月祝）
- 会場 九州大学大橋キャンパスデザインコモン1F
- 対象者 一般市民
- 内容 障がい者とともに創造活動を行うために、何から始めたら良いかについて、フォーラム形式で事例紹介と討議を実施。
- 参加料 無料
- 参加者数 95人

②身体的にバラエティあふれる人たちの演劇公演

ワークショップシアター「ガラスの動物園」

- 開催日 令和2年1月23日（木）～1月25日（土） 3回公演
- 会場 福岡アジア美術館あじびホール
- 演出 安田雅弘氏，小島美紀氏
- 出演 山口恭子氏，倉品淳子氏，廣田溪氏
- 入場料 一般 1,500円（当日券各500円増）
- 来場者数 272人

③特別支援学校へのアーティスト派遣

- アーティスト 岩下 徹氏（舞踏家），新井理恵子氏（ちんどん「鈴乃家」），佐久間 新氏（舞踏家），河合拓始氏（ピアニスト・作曲家）
- 実施校 2校（南福岡特別支援学校，今津特別支援学校）
- 対象者 小学部
- 来場者数 99人

(4) 博多旧市街にぎわい創出事業（決算額 1,096千円）

来場者：2,050人

福岡市を代表する歴史エリアを対象とした「博多旧市街プロジェクト」について、市や関係機関と連携して、市民や観光客が文化芸術に触れる機会を創出するとともに、博多旧市街におけるにぎわいの創出に寄与した。

①博多旧市街プロジェクト・インバウンド事業

来場者：770人

博多区・博多まちづくり推進協議会，ラグビーワールドカップ事務局，まるごとミュージアム実行委員会と連携し，市民及び国内外からの来訪者が気軽に福岡の歴史や文化芸術に触れ，楽しんでいただけるよう，博多旧市街エリア内の寺院や博多駅の特設ステージにおいて，ダンスや花生け等のパフォーマンスを実施した。

ア 「和の博多」オープニングイベント

- 開催日 令和元年9月14日（土） 3ステージ
- 会場 東長寺本堂内
- 出演者 DENKO-SEKKA（花生けパフォーマンス）、福田智子氏・平雛子氏（ダンス）&粗忽家勘朝氏（落語）、KAWAKAMI氏（ギター）&松井英理氏（ダンス）
- 入場料 無料
- 来場者数 300人

イ ラグビーワールドカップ 博多駅ファンゾーン特設ステージイベント

- 開催日 令和元年9月27日、10月12日（土） 2ステージ
- 会場 ラグビーワールドカップ博多駅ファンゾーン特設ステージ
- 出演者 DENKO-SEKKA（花生けパフォーマンス）、んまつーポス（ダンス）
- 入場料 無料
- 来場者数 220人

ウ まるごとミュージアム

- 開催日 令和元年10月11日（金）
- 会場 東長寺本堂前
- 出演者 んまつーポス（ダンス）
- 入場料 無料
- 来場者数 250人

②アートカフェ事業

来場者：1,280人

博多旧市街の拠点施設である福岡アジア美術館内の「アートカフェ」において、オープンな空間を活かし、誰もが気軽に立ち寄れるミニコンサートやトークセッション等を実施した。

また、市民の文化芸術活動を支援する「ステップアップ助成プログラム」に採択された活動の紹介や公演PRの場としても活用し、アーティスト等の広報支援を行った。

ア 福岡アジア美術館と連携した事業

- 開催期間 令和元年8月12日（土）～令和2年2月16日 計9回実施
- 出演者 九州交響楽団、寺田蝶美氏・平田優生氏（筑前琵琶）、ホ・ギョンミ氏（韓国伝統舞踊）、ドラム馬頭琴楽団（馬頭琴）、サキーナ彩子他（東インド古典舞踊）、ティティポン・カンティウオン氏（北タイ民族楽器演奏）、川内有緒氏（作家）

- 実施内容 九響ミニコンサート3回のほか、「開館20周年記念展」の関連企画としてアジアの民族音楽や舞踊，作家のトークセッションを実施
- 来場者数 1,060人

イ 「ステップアップ助成プログラム」採択事業の広報支援

- 開催日 令和元年11月10日（土）
- 出演者 SnC（ダンス事業）
- 実施内容 12月の本公演に出演するダンサーによるミニパフォーマンス，映像作品上演，振付家のトークセッションを実施
- 来場者数 220人（*ステップアップ助成プログラムの来場者・参加者数としても再計上）

(5) 文化交流促進事業（決算額 1,118千円） **来場者・参加者：1,086人**

国内外の多種多様な舞台芸術に触れる機会を広く市民に提供し，文化芸術の持つ創造性や多様性，個性等をダンスや演劇などを通じて体感することで，国内外の相互交流，相互理解を促進した。

①コンテンポラリーダンス事業 **来場者・参加者：175人**

「福岡ダンスフリンジフェスティバル」の一環としてワークショップを実施するとともに，より多くの市民に親しんでもらうため，アジアだけでなく欧州の指導者との交流により若手ダンサーの育成を図っている団体と共働でダンス公演を実施した。また，公演後のアフタートークによって，ダンサーと観客の交流を促進した。

ア 「福岡ダンスフリンジフェスティバル」関連ワークショップ

- 開催日 令和元年8月27日（水） 2回
- 会場 福岡アジア美術館7Fアートカフェ
- 出演者 古家優里氏（ダンサー・振付家），
石橋美砂氏（オブジェ作家・デザイナー）
- 参加料 1,000円
- 参加者数 16人

イ コンテンポラリーダンス公演「プレミアムダンスセレクション」

- 開催日 令和2年2月16日（土） 2回公演
 - 会場 ぽんプラザホール
 - 出演者 （国内）Scarabe，松井英理氏，CKK，大前光市氏，SHUNJI氏
（海外）JHI Ballet Creative（韓国）*
- *新型コロナウイルスの影響により，芸術監督のみ来福し映像作品を上映

■入 場 料 2,500円

■来 場 者 数 159人

②福岡きびる舞台芸術祭

来場者・参加者：911人

福岡市の音楽・演劇練習場施設の指定管理者、NPO法人と連携して、国内5団体を招聘して演劇公演、交流会などを実施し、多様な演劇作品に触れる機会の提供や演劇の魅力を広く発信するとともに、劇団相互の交流やトークセッションなどを通じた観客との交流促進を図った。

ア 演劇公演

■開 催 日 令和2年2月8日（土）～3月1日（日）

■会 場 ぽんプラザホール、パピオビールーム、なみきホール、
ゆめアール大橋

■内 容 5団体の作品を計16回上演

■出 演 者 劇団きらら（熊本）、ブルーエゴナク（北九州）、
村川拓也氏（京都）、庭劇団ペニノ（東京）、
DOORプロデュース（大阪）

■入 場 料 一般 2,300円～3,800円、共通チケット8,500円 他

■来 場 者 数 781人

イ 関連企画（キビるトーク、キビるカフェ）

■開 催 日 令和2年2月9日（日）～2月29日（土）

■会 場 パピオビールーム、ゆめアール大橋、公演会場周辺カフェ

■進 行 役 トーク：大澤 寅雄氏（ニッセイ基礎研究所）、
宮本智史氏（NPO法人ドネルモ）

カフェ：柴山麻妃氏（演劇批評家）

■内 容 ・キビるトークは公演終了後の会場で、演出家と来場者が質疑を
通じて作品への理解を深めるもの。2回実施。

・キビるカフェは公演会場周辺のカフェで、観劇後の感想を
観客同士で共有するもの。3回実施。

■参 加 料 無料

■参 加 者 数 130人

第2 市民の文化芸術活動の支援

(1) 第56回福岡市民芸術祭 (決算額 18,701千円) 来場者・参加者：133,168人

市民の文化芸術活動の発表の場、身近に文化芸術に触れ合う場として、音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を開催した。

①参加行事

10月から12月に市内で開催される市民団体による文化芸術活動を「市民芸術祭参加行事」として認定し、統一のロゴデザインを活用したのぼりやポスター等を配布して一体的な広報で周知を図るとともに、福岡市立施設の優先予約、施設利用料の減免等の支援を行った。

特に、若い世代を含む幅広い参加を促進するための広報活動に重点を置き、新たに福岡市自治協議会7区会長会の協力のもと、各区の自治協議会等において広報活動を行うとともに、大学の学園祭や博多座「市民檜舞台の月」の公演、ステップアップ助成プログラムの認定団体などにも参加を呼びかけて、参加団体の拡大に取り組んだ。

■開催期間：令和元年10月1日（木）～12月31日（木）

■参加行事：143行事（音楽63，美術・パフォーマンス26，演劇8，舞踊8，
伝統芸能9，文芸10，メディア芸術4，生活文化2，その他13）

②オープニングイベント

平成30年度のオープニングイベントで初演し好評を博した、「現代サーカス」と「日本伝統芸能」による舞台「線香花火」について、内容を拡充して再演し、市民芸術祭参加行事について、より多くの市民に周知を図った。

■公演名 「線香花火」

■開催日 令和元年9月29日（土）

■会場 福岡市民会館大ホール

■出演 谷口界氏（アクロバット）、ハチロウ氏（ジャグリング）、
米澤一平氏（タップダンス）、茉莉花氏（コントーション）、
望月ゆうさく氏（ディアボロ）、宮窪研氏（炎舞）、
中島美紀氏（書道）、森永基木氏（津軽三味線）、
山崎箏山氏（尺八）ほか

■入場料 S席 1,500円 A席・ユース（25歳以下）1,000円 他

■来場者数 1,527人

③メイン事業

来場者・参加者：1,265人

福岡でしか見ることができない現代サーカスの公演及びワークショップを実施し、市民に「現代サーカス」という新しい舞台表現を鑑賞・体験する機会を提供した。

フィンランドと国内アーティスト及び地元の音楽家による国際共同滞在創作作品「Air／エアー」は、パフォーマンス、音楽、衣装等全て福岡において創作されたオリジナル作品として、国内外で広く発信された。

- 公演名 「Air／エアー」
- 開催日 令和元年11月30（土）～12月1日（日） 2回公演
- 会場 福岡市立東市民センターなみきホール
- 出演 イローナ・ヤンティ氏（フィンランド：空中芸アーティスト）
- 入場料 S席 2,500円 A席 1,500円
子ども 1,000円（当日券各500円増）ほか
- 来場者数 1,118人

（関連企画）

ア 空中芸体験「空中を散歩する？エアリアル体験ワークショップ」

- 開催日 令和元年11月17日（日）
- 会場 ゆめアール大橋
- 内容 小学生を対象とした空中芸の体験ワークショップ
- 講師 吉田亜希ほか
- 参加料 1,000円
- 参加者数 14人

イ 関連公演「かげのしずく」

- 開催日 令和元年10月26日（土） 2回公演
- 会場 ぽんプラザホール
- 出演 ラファエル・ボワテル氏（フランス）ほか
- 内容 フランス現代サーカス界の若きカリスマ
ラファエル・ボワテルがエアリアルを中心に福岡公演に向けて
新たに創作した世界初演作品
- 入場料 一般 2,500円 子ども 1,000円
- 来場者数 122人

ウ 関連公演「かげのしずく」体験ワークショップ

- 開催日 令和元年10月27日（日）
- 会場 ぽんプラザホール
- 講師 ラファエル・ボワテル氏（フランス）ほか
- 内容 小学生から大人までを対象に空中芸の体験ワークショップを行い、
最後は参加者で小作品を創作して発表

■参加料 1,000円

■参加者数 11人

(2) 第53回福岡市華道展（決算額 560千円）

来場者・参加者：7,505人

「華道」の魅力を多くの人に伝え、体感してもらうため、市を代表する21会・流派合同による華道展を開催した。併せて、従来の親子や男性に加え、一般女性を対象としたいけばな体験教室を開催し、誰もが華道に気軽に親しむ機会を創出した。

また、アクロス福岡の匠ギャラリーと連携し、同時期に開催された花器展の作品に花を生け、相互に鑑賞しあうことで、来場者の増加を図った。

①いけばな展示

■開催日 令和元年6月6日（木）～6月9日（日）

■会場 アクロス福岡2階交流ギャラリー、メッセージホワイエ、
1階アトリウム

■参加団体 21流・会派

■作品数 222点

■入場料 無料

■来場者数 7,445人

②いけばな体験教室

■開催日 令和元年6月8日（土） 3種類の教室を各1回実施

■会場 アクロス福岡2階セミナー室1

■参加料 大人 1,000円 子ども 500円

■参加者数 60人

（内訳）「親子いけばな体験教室」21人

「どなたでも参加OK いけばな体験兼教室」24人

「男前な華道！ 男性限定のいけばな体験」15人

(3) FFACステップアップ助成プログラム（決算額 3,608千円）

助成件数：15件，来場者・参加者：4,115人

福岡市において文化芸術分野の発展・普及や人材育成・環境整備に係る活動を行う団体・個人に対し、経費の一部助成や専門アドバイザーによる助言、広報等の支援を行うとともに、活動実施後に報告会を開催し、フォローアップ支援や活動者間の交流を図った。

令和元年度は15件の助成を行い、活動の規模拡大や質の向上等が図られたほか、作品の販路の拡大や新たなコラボレーションのきっかけとなる等の事例も出てくるなど、対象団体・個人の活動が拡充するとともに、市民の文化芸術に触れる機会が増加した。

①助成概要

- 助成件数 15件（応募件数34件）
- 分野内訳 「創造活動部門」 9件, 「文化団体等活動支援部門」 4件,
「人材育成・環境整備部門」 2件
- 助成額 2,900千円
- 参加者数 4,115人
(内訳) 前期報告会参加者 15人
*後期報告会は新型コロナウイルスにより延期
採択事業の公演や展示会への来場者・参加者 4,100人

②助成対象団体・個人と実施内容

【創造活動部門】 9件

ア 演劇公演「手をふる」

- 申請者 ヒカリノオト
- 開催日 令和元年5月17日（金）～5月19日（日） 4回公演
- 会場 ぽんプラザホール
- 助成額 260千円
- 来場者数 389人

イ 演劇公演「星の王子さまと巡る星物語―声・音・空間と共に―」

- 申請者 テクテクハニカム
- 開催日 令和2年2月9日（日） 2回公演
- 会場 アクロス福岡円形ホール
- 助成額 180千円
- 来場者数 216人（内14人は事前ワークショップ参加者）

ウ 演劇公演「サロメ」

- 申請者 Mr. daydreamer
- 開催日 令和元年11月2日（土）～11月4日（月） 6回公演
- 会場 湾岸劇場 博多扇貝
- 助成額 60千円
- 来場者数 120人

エ ダンス公演「ダンス・クリエイターズ」

- 申請者 SnC
- 開催日 令和元年12月13日（金）～12月14日（土） 3回公演
- 会場 あじびホール

■助 成 額 270千円

■来 場 者 数 408人

(内220人はアートカフェでの事前告知パフォーマンス来場者)

オ ダンス公演「Youth Dream Support Project 夢 vol. 3」*H30年度に続き2回目の採択

■申 請 者 A Project Fukuoka

■開 催 日 令和元年12月22日(日)

■会 場 東市民センターなみきホール

■助 成 額 200千円

■来 場 者 数 235人(内55人は関連ワークショップ参加者)

カ 音楽公演「第6回 福岡ジルベスターコンサート2019」*H30年度に続き2回目の採択

■申 請 者 福岡ジルベスターコンサート実行委員会

■開 催 日 令和元年12月31日(火)～令和2年1月1日(水祝)

■会 場 福岡サンパレスホール

■助 成 額 270千円

■来 場 者 数 909人

キ 音楽公演「第4回 ギルド・ムジカ九州演奏会」

■申 請 者 ギルド・ムジカ九州

■開 催 日 令和元年11月8日(金)

■会 場 あいれふホール

■助 成 額 300千円

■来 場 者 数 91人

ク 美術展示「大正モガとIHANAIのファッションイラストレーション展」

■申 請 者 岩本英恵氏

■開 催 日 令和元年10月29日(火)～11月10日(日)

■会 場 旧福岡県公会堂貴賓館

■助 成 額 110千円

■来 場 者 数 919人

ケ 伝統芸能公演「福岡能楽大連吟」

■申 請 者 福岡能楽大連吟実行委員会

■開 催 日 令和元年10月6日(日)

■会 場 福岡アジア美術館アートカフェ

■助 成 額 390千円

■参加者数 154人 (内87人はワークショップ参加者)

【文化団体等活動支援部門】 4件

ア 演劇公演「音楽物語『いろいろな表現に出会って、やっ、楽しむわくわくワールド』」

■申請者 音楽物語グループSEGUE

■開催日 令和2年1月26日(日) 2回公演

■会場 アクロス福岡円形ホール

■助成額 100千円

■来場者数 188人

イ 演劇公演「夢語り千夜『能の想』」

■申請者 小合静世氏

■開催日 平成31年4月27日(月) 2回公演

■会場 今村能舞台

■助成額 60千円

■来場者数 75人

ウ 演劇公演「第4回定期公演『スプリング・スプリング』」

■申請者 劇団ルート

■開催日 令和元年12月8日(日)

■会場 コミセンわじろ 多目的ホール

■助成額 50千円

■来場者数 170人

エ 音楽公演「マリンバ・パーカッションのマニアなコンサート vol.3」

■申請者 若菜陽子氏

■開催日 令和元年5月25日(金) 2回公演

■会場 アクロス福岡円形ホール

■助成額 80千円

■来場者数 75人

【人材育成・環境整備部門】 2件

ア 演劇ワークショップ「HANARO WEEK ～韓流3つのワークショップ～」

- 申請者 福岡・釜山交流ひろば
- 開催期間 令和元年11月27日（水）～12月1日（日）
- 会場 福岡市民会館練習室，パピオビールーム，
福岡市美術館アートスタジオ 他
- 助成額 220千円
- 参加者数 69人（内50人は成果発表会見学者）

イ ダンスワークショップと発表会「～カラダだから・だからカラダ～」

- 申請者 一般社団法人パラカダンス
- 開催期間 令和元年11月1日（金）～11月24日（日）
- 会場 工房まる，福岡市美術館アートスタジオ
- 助成額 350千円
- 参加者数 82人（内38人は発表会見学者）

③報告会

- 開催日 令和元年12月7日（土）
- 会場 福岡市役所502会議室
- 内容 ・事業を実施した採択団体・個人からの実施報告
・専門アドバイザーからフィードバック，全体講評
・参加者間での交流
- 参加者 ・4月～11月上旬までに事業を実施した採択団体・個人
・報告ジャンルの専門アドバイザー
・これから事業を実施する採択団体・個人や，次年度の第一期募集
に応募した活動者等で参加を希望する人
- 参加者数 15人

第3 情報発信事業の推進

1 文化芸術資源収集活用事業（決算額 21,431千円 ※美術品等購入費）

福岡市民の貴重な財産となる美術品、博物館資料等を、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出した。

■購入件数及び総額：	21点	21,430,952円
■売却件数及び総額：	8点	6,502,400円

福岡市美術館

購入：彫刻「桜を放つ女性」ほか	計 2点	(計 20,030,352円)
売却：染織「グリーンシン文様更紗」	計 1点	(計 5,500,000円)

福岡市博物館

購入：美術「竹図」ほか	計 19点	(計 1,400,600円)
売却：絵画「秋景貴人図」ほか	計 7点	(計 1,002,400円)

2 文化芸術広報事業（決算額 4,539千円）

(1) 文化情報発信事業（決算額 4,039千円）

①財団機関誌「wa」の発行

財団事業をわかりやすく伝えるとともに、人・事・場所等の紹介を通して福岡の文化芸術ファンを増やし、福岡の文化芸術の情報発信力向上の一翼を担った。

■発行状況：年3回（5月，9月，1月）発行 20,000部

※wa82号（9月号）は配布機会が多かったため、1,000部増刷した。

◎wa81・夏号

[Pick up Artist] 中島 美紀 氏（書作家）

[財団事業]

魅せる！聴かせる！人形浄瑠璃への誘い

めにみえない みみにしたい

第56回福岡市民芸術祭オープニングイベント「線香花火」

アーティストとつくる

◎wa82・秋号

[財団事業] 博多旧市街まるごとミュージアム2019

福岡市民芸術祭メイン事業「Air/エアー」

FFAC×アジ美 アートと市民とともに20年

◎wa83・冬号

[Pick up Artist] 下村 結香 氏（女優・画家）

[財団事業]

キビるフェス2020

アーティストとであう開催レポート

賛助会制度が新しくなります

[アートトリップ] 中洲川端

②ホームページ及び文化情報コーナー等による情報発信

財団ホームページ及び福岡市文化プログラム※情報サイト並びに文化情報コーナー「アトリエ」を運営し、情報収集と発信を行った。

また、個人に向けたメールマガジンの定期的な配信やSNSを活用したタイムリーな情報提供、メディア向けニュースリリースの発行（月1回程度）による取材呼びかけなど、多チャンネルによる発信を行った。

[財団ホームページ]	訪問数：72,708件
[福岡市文化プログラム情報サイト]	訪問数：28,703件
[メルマガ配信] 毎週木曜日発信	登録者数：1,555人

※福岡市文化プログラム：国において、東京五輪に向けて全国で様々な主体による日本文化の魅力を発信する事業を「文化プログラム」として、オールジャパンで推進していくこととしている。福岡市においても、この国の動きと連動し、福岡の歴史・文化の魅力を広く発信することを目的とした「福岡市文化プログラム」を展開している。

(2) まるごとミュージアム事業（決算額 500千円）

平成30年度に引き続き、歴史ある博多旧市街において現代アート作品を展示する屋外型アートイベントを開催。令和元年度は「博多旧市街ライトアップウォーク」とのコラボを拡大し実施することで魅力向上を図った。

開催日：令和元年10月11日(金)～10月14日(月)

会場：承天寺(仏殿)，東長寺，妙楽寺，善導寺，龍宮寺

3 文化芸術普及事業（決算額 8,547千円）

福岡市美術館及び福岡アジア美術館，福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作，販売を行い，三館の魅力や所蔵の文化芸術資料等のPR・広報を推進した。

(1) 主な売上

・金印グッズ（レプリカ，スタンプ，ストラップほか）	計8,338点	5,876,320円
・刀剣グッズ（日本号クリアファイル，圧切長谷部絵はがきほか）		
	計5,085点	982,459円
・所蔵品図録（ザ・ベスト，市美100選，アジコレ100）	計611点	1,252,246円

(2) 令和元年度 新規販売グッズおよび売上

・福岡市博物館グッズ(金印グッズ(マグネット，一筆箋，野帳，缶バッジ))	計	1,690点	617,760円
・福岡アジア美術館（マグネット，一筆箋）	計	157点	52,720円
・財団オリジナル（福岡おさんぽバッグ（デニム））	計	485点	496,080円

4 賛助会「わの会」事業（決算額 1,595千円）

「市民の芸術鑑賞機会の増大」及び「福岡市の文化芸術活動の振興」を目的とした、財団の賛助会制度である「わの会」事業を推進した。

(1) 会員・会費

- ・個人会員 年会費 2,000円（全期） 1,500円（半期）
- ・法人会費 年会費 10,000円（全期）

(2) 会員特典

- ・福岡アジア美術館及び福岡市博物館の常設展並びに九州産業大学美術館の無料観覧
- ・財団及び福岡アジア美術館，福岡市美術館，福岡市博物館の機関誌や文化芸術情報等の定期送付（年4回）
- ・福岡市総合図書館映像ホール「シネラ」の入場料割引
- ・会員限定や優待の講座，イベント開催
- ・市外の美術館など提携施設の入場料割引等

(3) 会員数

- ・個人会員：355人
- ・法人会員：3団体

(4) 講座・イベント

①華道展関連イベント「いけばな体験／男前な華道！」

開催日：令和元年6月8日（土）

会 場：アクロス福岡

参加者： 2人

②わの会講座「『侍展』鑑賞ポイント講座」

開催日：令和元年10月16日（水）

会 場：福岡市博物館 1階講堂

参加者：約100人※ 「※」は一般参加者を含む数

(5) 「わの会」のリニューアル

令和2年度において、賛助会「わの会」の名称を「w a + c l u b（わたすクラブ）」に変更し、これまでの会員特典に加え、財団主催事業の先行予約など会員特典の充実や、申込手続きの簡便化などによる、会の魅力向上を図り、市民の芸術鑑賞機会の増大と福岡市のさらなる文化芸術活動の振興に取り組むこととした。

このため、その準備段階として具体的な制度設計を行ったうえで、各種広報ツールのデザインを一新し、会員募集に向けた魅力的なリーフレット、ロゴマーク及び会員カードなどを制作した。